

令和6年3月18日(火)、春の雨がしとしとと降るなか、九州女子大学の卒業式が厳かに挙行されました。心理・文化学科の卒業生86名は、少し緊張した面持ちで10時30分から始まった式典に臨み、それぞれの晴れの日を迎えました。

式では、学長より心のこもったお祝いの言葉が贈られ、続いて理事長からは、社会に羽ばたく若者たちへの激励と期待のメッセージが届けられました。

また、心理・文化学科からはコース代表の学生が登壇し、4年間の学びを振り返るとともに、支えてくれた家族や友人、そして教職員への深い感謝の思いを言葉にしました。時折、感極まり涙を流しながらも、自身の成長と仲間たちとの日々を振り返るその姿に、会場は温かな拍手に包まれました。



式典の後、場所を小倉リーガロイヤルホテルに移し、謝恩会が開かれました。会場には華やかなドレスに身を包んだ卒業生たちの笑顔があふれ、先生方との思い出話に花が咲きました。学生たちは、これまでの感謝の気持ちを込めてお世話になった先生方へ花束を贈り、互いに笑顔で言葉を交わしながらも、別れを惜しむ姿があらこちらで見られました。

心の通う温かい空間の中、学生たちはそれぞれの新たな一歩へと踏み出していきます。心理文化学科での学びや人とのつながりは、これからの人生においてきっと大きな支えとなることでしょう。

卒業生の皆さまのご活躍を、教職員一同、心よりお祈り申し上げます。